

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
 【確かな学び】自ら学ぶ姿勢を身につけ、想像力を持ちながら物事を多面的にとらえることのできる生徒(思考力)
 【豊かな心】自己の言動に責任を持ち(自己決定力)、他者への配慮を持ちながら(調整力)、人間関係において信頼を得られる生徒
 【健やかな体】生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るために、スポーツの意義を理解し、基本的な生活習慣を実践できる生徒

堺市立家原寺小学校

校長 波田 仁宏

令和2年度 重点目標
 『チーム家原寺 Step Up Challenge!! ～確かな学び 豊かな心 健やかな身体の育成～』

確かな学びの現状
 ・国語科、算数科ともに一定の学力水準は維持しているが、学びの診断において、国語科では「物語の内容を読み取る」「漢字を書く」問題で課題がみられる。算数科では「図形」や「数量関係」の領域で、課題がみられる学年がある。
 ・児童の意識調査において「ノートに自分の考えをよく書く」という項目はよくできているが、「友だちと話し合う活動をよく行っている」という項目に課題がみられる。

豊かな心・健やかな体の現状
 ・「なかよしタイム」などの縦割活動をととして、異学年の交流が深まり、高学年において自尊感情の増加がみられる。
 ・「かけあしタイム」や「なわとび月間」などの取組の成果もあり、体力テストでは堺市の平均を上回っている種目も多くある。一方、学年が上がるにつれ、堺市の平均を下回る種目が増えてきているため、今後一層、体力の向上に向けて取り組んでいく必要がある。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～9月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学力向上	「わかる授業」づくりに取り組み、基礎的な知識・技能を習得させ、学力の向上を図る。	朝の学習時間に、国語と算数のプリント学習に取り組むなど、基礎・基本事項の徹底反復を行う。	・全学級で取り組む ・全学級で漢字スキル・漢字テストに取り組む	実践報告	毎学期			
			●ユニバーサルデザインの視点や言語活動を取り入れ、一人ひとりの子どもが「わかる喜びや学ぶ楽しさ」を実感できる授業を行い、児童の読解力・思考力・表現力を育成する。	・家原寺授業スタンダードを活用した授業の全学級実施 ・「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」で肯定評価70%以上	実践報告 学びの診断質問紙	毎学期 3学期初め			
	生活・確立	家庭での生活・学習習慣の向上に取り組む、自ら学ぶ子どもを育成する。	・学校図書館利用時に読書活動の啓発をする。 ・「読書が好き」で肯定評価昨年度以上 ・「『子どもは宿題のほかに家庭学習をしている』」で肯定評価75%以上	実践報告 学びの診断質問紙 学校教育アンケート	毎学期 3学期初め				
活動	外国語	外国語に慣れ親しみ活用する。	「家庭学習ノート」に取り組む、家庭学習習慣の向上を図る。	・全学級で家庭学習ノートに取り組む ・「家での勉強を1時間以上している」で肯定評価 昨年度以上	実践報告 学びの診断質問紙	毎学期 3学期初め			
			★「グランドデザイン」に基づき、小中連携で外国語に取り組む。	外国語専科教員による指導を3～6年生で実施	実践報告 児童アンケート	毎学期 3学期初め			
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	自他のよさを見つけ、認められる子どもの育成を図り、子ども一人ひとりの自尊感情を高める。	なかよしタイムでの異年齢との交流や、各学級での「よいところみつけ」等の取組を通して、仲間づくりを進める。	「『なかよしタイム』やさまざまな活動で 友だちと仲良く活動できた」で肯定評価80%以上	児童アンケート	3学期初め			
			●進んで挨拶ができるよう、「あいさつ週間」等を実施し、さまざまな場面で児童が主体的に活動する取組を進める。	・見守り隊の方や来校者などに進んで挨拶している姿が見られる。 ・児童会を中心に挨拶運動に取り組む。 ・「すすんであいさつしている」で肯定評価昨年度以上	実践報告 児童アンケート	毎学期 3学期初め			
			●いじめアンケートの確実な実施、いじめ相談窓口、校内委員会の設置など、日頃から、いじめの早期発見・早期解決に取り組む、いじめ解消率を向上する。	・いじめアンケートを学期ごとに全学級で実施し対応している。	児童アンケート	毎学期			
体力向上	前年度の体力テスト結果を分析し、課題となる項目についての克服に向け、子どもたちに楽しく運動に取り組ませながら体力向上を図る。	なわとび、体力づくり週間等の取り組みを充実させ、子どもたちに楽しく運動に取り組ませながら体力向上を図る。	・全校児童で実施 ・体育の時間、走・跳・投の基本的な運動能力の低下を防ぐ。	実践報告	3学期初め				
		地域団体との清掃活動や交流会を行い、児童の地域への愛着を高めるとともに、地域への貢献に努める。	地域人材を活用した授業を全学年で実施	実践報告	毎学期				
地域との連携	信頼される学校	学校・家庭・地域が情報や目標を共有し、「つながる・ひろがる」教育を推進する。	★小中一貫教育推進リーダーを中心に、年間を通し様々な活動で小中連携を図る。	・「中学校の先生と学ぶ授業に楽しく取り組んでいる」で肯定評価85%以上・「小中連携に取り組んでいる」で教員の肯定評価80%以上	児童アンケート 教員アンケート	3学期初め			

校長より(年度末) _____ 学校関係者評価者から(年度末)